

をお知らせします

皆さんから納めていただいた税金、保険料などは、町の一般会計・特別会計の財源の一部となり、町の行財政運営に使われました。

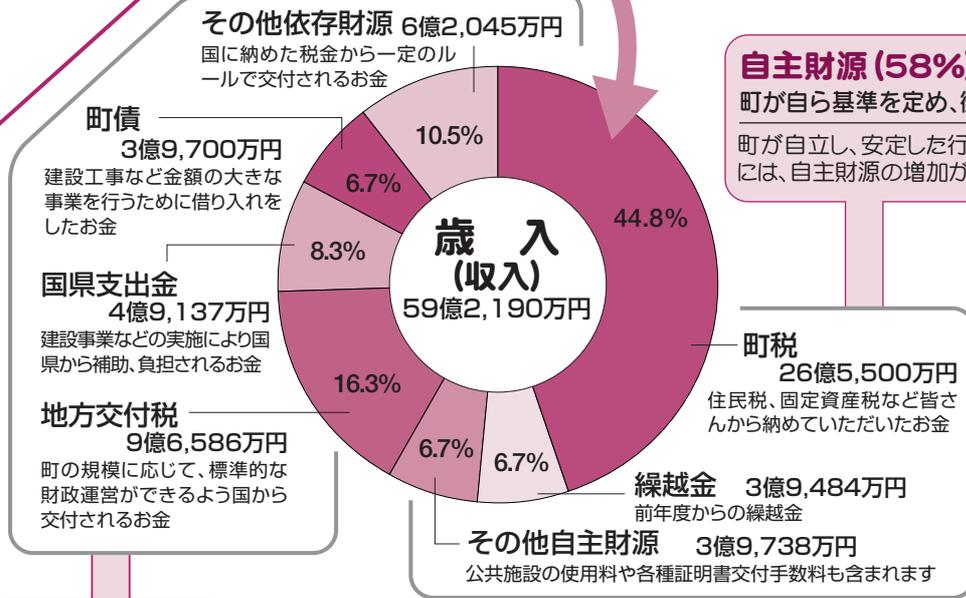
歳入は、59億2,190万円で、前年度と比較して1,862万円、0.3%減少しました。

歳出は、55億1,251万円で、前年度と比較して3,317万円、0.6%減少しました。

歳入歳出差引額は、4億939万円で、この額から基金の出し入れや前年度からの繰越金を除き、純粋に1年間で入ったお金と出たお金の差を計算すると、1億7,525万円の黒字となりました。

一般会計

町民税、固定資産税など



自主財源 (58%)

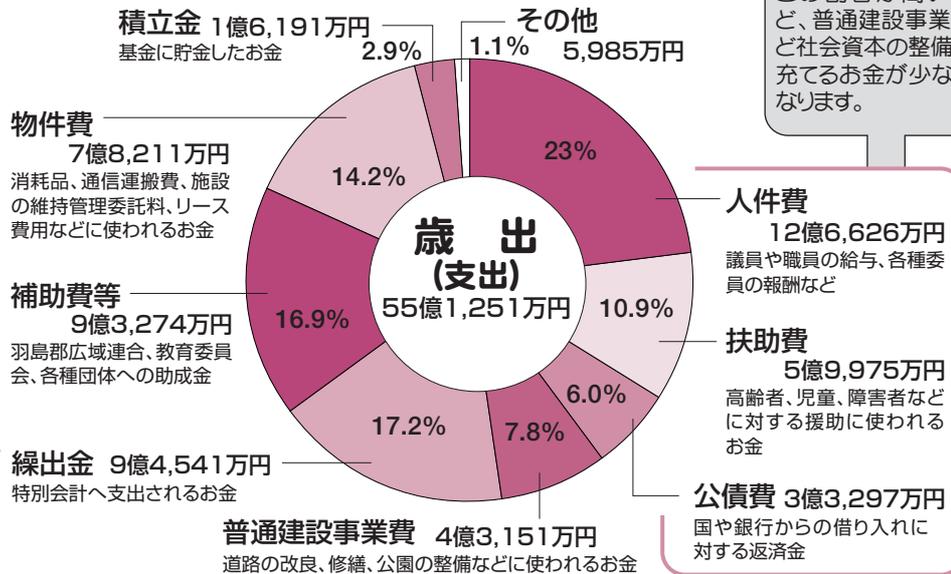
町が自ら基準を定め、徴収・収納できるお金
町が自立し、安定した行政活動を進めるためには、自主財源の増加が望まれます。

義務的経費 (40%)

支出が義務付けられ、簡単に削減することができないお金
この割合が高いほど、普通建設事業など社会資本の整備に充てるお金が少なくなります。

依存財源 (42%)

国や県の基準に基づき、交付されるお金
使い道が特定されているものが多く、自由に使うことができません。



補助費等

- 可燃ごみ(焼却)処分事業 3億1,744万円
- 岐阜羽島衛生施設組合負担金 3億326万円
- 常備消防事務事業 3億326万円
- 羽島郡広域連合負担金
- 教育委員会運営事業 6,041万円
- 羽島郡二町教育委員会負担金

普通建設事業費

- 中央公民館施設改修等工事請負費 1億936万円
- 笠松みなと公園整備事業 5,173万円
- 下羽栗保育所施設修繕等工事請負費 5,092万円
- 笠松小学校校舎修繕等工事請負費 1,864万円
- 松枝小学校校舎修繕等工事請負費 1,179万円
- 下羽栗小学校校舎修繕等工事請負費 4,053万円

扶助費

- 児童手当支給事業 1億5,321万円
- 障害者自立支援事業、支援費支給事業 8,132万円
- 乳幼児・児童・生徒医療費助成事業 9,566万円
- 重度心身障害者医療費助成事業 4,006万円
- 母子家庭等医療費助成事業 1,279万円
- 重度障害老人特別助成事業 3,853万円